

平成 29 年 11 月 22 日

政務活動費行政視察報告書

視察期日 平成 29 年 11 月 9 日～平成 29 年 11 月 10 日

視察地及び項目 糸満市 庁舎の運用について
西原町 庁舎・議場の運用について
那覇市 議場の運用について

視察参加者 鈴木潔 河野芳徳 安藤圭介
西川和男 今村弘志

視察内容 別紙のとおり

報告者 西川 和男

別紙

糸満市の庁舎の運用について

糸満市では、「人・環境にやさしい庁舎」を目指し、庁舎建設では太陽光パネルを導入し、庁内の電力の省エネ等を進めていくよう計画された。一方でパネルの老朽劣化等の対策も併せて検討する時期になっているとのことでそのための費用も今後の課題となっているとのこと。

その意味で使用年数における更新計画も併せて検討することが必要であることが分かりました。

西原町の庁舎・議場の運用について

西原町は、庁舎内に 500 名のホールが設備された町民文化センターを含む複合型庁舎であります。ホールは、様々なイベントにも対応できる多目的ホールが特徴になっており、利便性の追求が図られていて参考になったところです。

また、議場も対面式のフラットが特徴で、傍聴席から執行部席や議員席の様子が分かるように配慮され、住民に開かれた議会というコ

ンセプトを感じました。大いに参考にしていきたいと思ったところ
です。

那覇市 議場の運用について

那覇市の議場は、円形となっているのが特徴であります。

対面式の進化系と言えるかもしれません。

議場は執行部と議会との議論の場であることを考えれば、こうした
対面式はより緊張感と議論の深まりが増していくように思いました。

また議場でのデジタル化が進み、大型スクリーンと大型テレビが配
置され、また傍聴席からもその様子が分かるように配慮されていま
す。

また傍聴席の親子席が設置されるなど、開かれた議会を追求した議
場となっており、たいへん参考になったところです。